

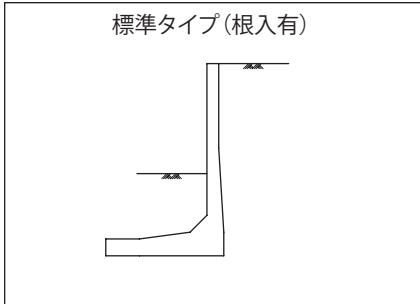
# CLP-CN (逆L型擁壁)



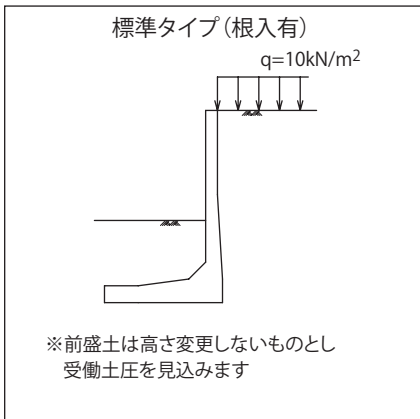
CLP-CNは、プレキャストのみで安定する逆L型擁壁です。  
 施工性に優れるほか、天端斜切対応も可能な逆L型擁壁です。  
 前盛土の計画がなく安定性に欠ける現場においては、プレキャスト底版を接続することで安定を図ります。

## CLP-CN(逆L型擁壁)の種類・設計条件

### CLP-CN(逆L型擁壁)の種類



### CLP-CN(逆L型擁壁)の設計条件

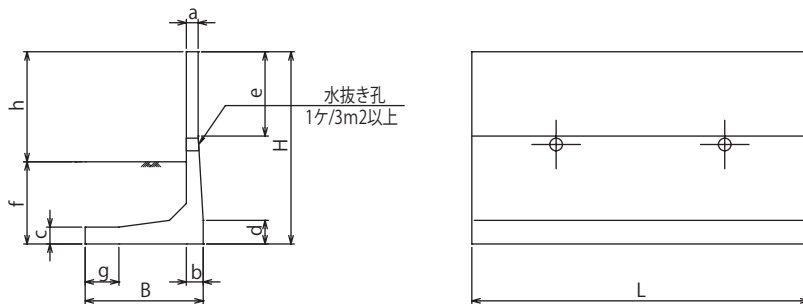


鉄筋コンクリートの単位体積重量	$\gamma_0=24.5\text{kN/m}^3$	
土の単位体積重量	$\gamma_s=19.0\text{kN/m}^3$	
土の内部摩擦角	$\varphi=30^\circ$	
壁面摩擦角(2/3 $\varphi$ )	$\delta=20^\circ$	
擁壁底面と基礎地盤の摩擦係数	$\mu=0.577$	
安定条件(前面受動抵抗無視)	転倒	$e \leq B/6$
	滑動	$F_s \geq 1.5$
コンクリートの許容曲げ圧縮応力度	$\sigma_{cm}=10.0\text{N/mm}^2$	
コンクリートの許容せん断応力度	$\tau_a=0.25\text{N/mm}^2$	
鉄筋の許容引張応力度	$\sigma_{cm}=160\text{N/mm}^2$	

# CLP-CN (逆L型擁壁)

## CLP-CN(逆L型擁壁) 標準タイプの寸法表

標準タイプ(根入有)



標準タイプの寸法表

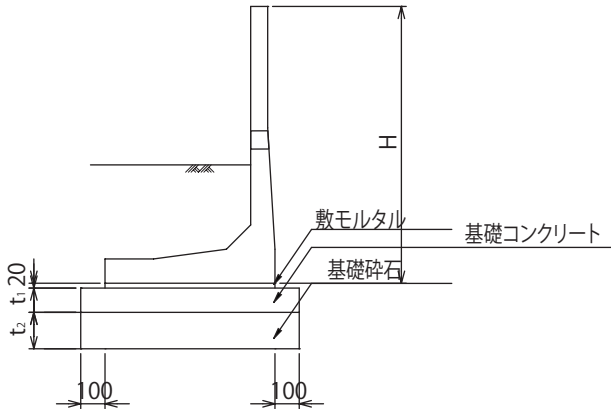
呼び名 (mm)				寸法 (mm)								参考 質量 (kg)	標準 必要地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )
H	B	L	h	a	b	c	d	e	f	g	ハッチ		
高さ	底版	長さ	土留高										
600	400	2000	200	100	110	80	110	100	400	0	100	470	21.7
700	450	2000	250	100	110	80	110	200	450	50	100	530	24.1
800	500	2000	300	100	110	80	110	300	500	100	100	600	27.0
900	550	2000	350	100	110	80	110	400	550	150	100	670	29.9
1000	650	2000	400	100	110	80	110	500	600	250	100	750	28.6
1100	700	2000	500	100	110	80	110	600	600	300	100	820	30.6
1200	750	2000	600	100	110	80	110	700	600	350	100	890	32.1
1300	800	2000	700	100	130	80	130	200	600	150	120	1080	33.7
1400	850	2000	800	100	130	80	130	300	600	200	120	1150	35.5
1500	1000	2000	900	100	130	80	130	400	600	350	120	1250	31.1
1600	1000	2000	950	100	130	80	130	500	650	350	120	1300	36.6
1700	1050	2000	1000	100	130	80	130	600	700	400	120	1370	39.2
1800	1150	2000	1100	100	130	80	130	700	700	500	120	1460	37.9
1900	1300	2000	1200	100	155	80	155	400	700	350	150	1790	34.6
2000	1300	2000	1250	100	155	80	155	500	750	350	150	1840	39.6
2100	1300	2000	1300	100	155	80	155	600	800	350	150	1890	45.0
2200	1450	2000	1400	100	155	80	155	700	800	500	150	2000	41.4
2300	1650	2000	1500	100	205	100	205	100	800	645	150	2700	36.3
2400	1850	2000	1600	100	205	100	205	200	800	845	150	2840	33.1
2500	2050	2000	1700	100	205	100	205	300	800	1045	150	2990	30.7
2600	2050	2000	1750	130	230	130	230	600	850	500	150	3700	33.7
2700	2050	2000	1800	130	230	130	230	700	900	500	150	3760	37.4
2800	2150	2000	1900	130	230	130	230	800	900	600	150	3890	37.3
2900	2300	2000	2000	130	230	130	230	900	900	750	150	4040	36.1
3000	2450	2000	2100	130	230	130	230	1000	900	900	150	4200	35.0

H

擁壁

# CLP-CN (逆L型擁壁)

## CLP-CN(逆L型擁壁)の基礎形状



高さ H	600 ~ 1200	1300 ~ 1800	1900 ~ 3000
基礎コンクリート厚 t <sub>1</sub>	50	100	150
基礎砕石厚 t <sub>2</sub>	150	200	250

H

擁壁

## CLP-CN 据付歩掛

### 歩掛表

(10m当り)

名称	規格	単位	擁壁ブロックの高さ(m)			
			0.5以上 1.0以下	1.0を超え 2.0以下	2.0を超え 3.5以下	3.5を超え 5.0以下
世話役		人	0.30	0.38	0.45	0.59
ブロック工		人	0.30	0.38	0.45	0.59
普通作業員		人	0.91	1.15	1.36	1.76
バックホウ運転	クレーン機能付 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )2.9t吊	日	0.30	—	—	—
ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	—	0.38	0.45	0.59
雑工種率	基礎砕石	%	45	53	60	66
	均しコンクリート	%	74	87	98	108
諸雑費率		%	16	18	20	21

- (注) 1) 本歩掛は、国土交通省土木工事積算基準(平成24年および29年度版)ープレキャスト擁壁工による。  
 2) 本歩掛で対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するプレキャスト擁壁である。なお製品天端を斜めにカットしたタイプを含む。  
 3) 歩掛は、運搬距離10m程度までの現場内小運搬を含むものであり、床掘り、埋戻し、残土処理は含まない。  
 4) バックホウおよびラフテレーンクレーンは賃料とし、規格は上表を標準とする。現場条件により上表より難しい場合は、別途考慮する。  
 5) 雑工種および諸雑費は、労務費、賃料および機械運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。  
 なお、雑工種および諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。  
 ・雑工種(基礎砕石): 敷設・転圧労務、材料投入・締め機械運転経費、砕石等材料費  
 ・雑工種(均しコンクリート): 打設・養生・型枠製作・設置・撤去労務、電力に関する経費、シールド・ホッパ・パイプレータ損料、コンクリート、養生材、均し型枠材料費  
 ・諸雑費: 敷モルタル・目地モルタル・排水材等の材料費  
 6) 雑工種における材料は、種別・規格に関わらず適用できる。  
 7) 本歩掛には、均しコンクリート型枠施工時は、離材塗布およびケレン作業を含む。  
 8) バックホウ運転単価(1日当り)は、下表により算出する。

バックホウ規格	名称	単位	数量
バックホウ(クレーン機能付) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )2.9t吊	運転手(特殊)	人	1.00
	燃料費(軽油)	リットル	76
	バックホウ賃料	供用日	1.45